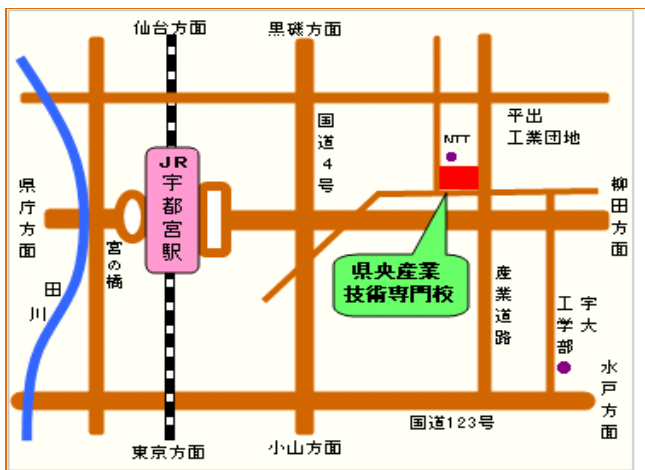


介護職員初任者研修科

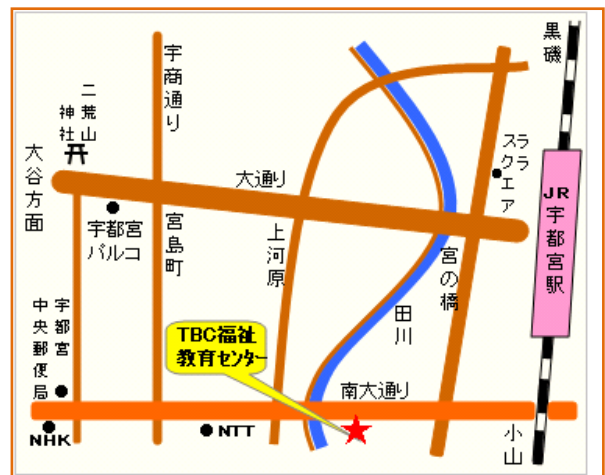
栃木県立県央産業技術専門学校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に職業訓練を実施いたします。

1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方
2. **定員** 15名（一般離転職者） 5名（ひとり親家庭の父母）
3. **訓練期間** 2か月 平成30年10月1日(月)～平成30年11月30日(金)
 訓練時間 午前9時30分～午後4時10分（6時間）
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日
 *ひとり親家庭の父母は、就職支援セミナーを、必ず受講してください。
 平成30年9月27日(木)～28日(金) 午前9時30分～午後3時30分
4. **訓練実施場所** 株式会社TBC福祉教育センター
 宇都宮市南大通り2-1-2TBC学院ビル7F(駐車場はありません)
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラム参照
6. **受講料他** 受講料は無料です。講習用テキスト代等(約7,500円)は入校時に集金いたします。
 健康診断料(5,500円)・訓練生総合保険料(2,400円+振込手数料)・消耗品は、受講者の負担となります。
7. **募集期間** 平成30年8月1日(水)～8月31日(金)
8. **選考日時** 平成30年9月13日(木) 選考は午前10時（受付:午前9時30分～午前9時50分）
9. **選考会場** 栃木県立県央産業技術専門学校 本館3階 視聴覚教室
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校グラウンドを使用してください)
10. **選考方法** 提出書類・適性試験(30分、50問)・面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **その他**
 - ①指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
 - ②選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
 - ③応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予めご了承願います。



(選考場所) 栃木県立県央産業技術専門学校

TEL:028-689-6380



(訓練実施場所) 株式会社TBC福祉教育センター

TEL:028-651-2171

訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	(県央校) 介護職員初任者研修科 (10月コース)	訓練終了後 に想定され る就職先	老人福祉施設 老人保険施設 訪問介護事業所 障害者施設 病院 通所介護 通所リハビリテーション こども通所サービス	
訓練期間	平成30年10月1日～平成30年11月30日 (2ヵ月)			
訓練目標	介護職員初任者研修の学習を通して介護に関する正しい基礎知識を身につけ、広い視野を持った介護員を目指す。高齢者・障害者の自立支援の担い手となり、介護業務関連へ即戦力として就職する。			
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間	
	学	・オリエンテーション ・就職支援	オリエンテーション・就職支援 基本的理念の理解、アイスブレイク、業界研究、ジョブ・カード・履歴書作成・面接指導・就職講話・企業説明会・ビジネスマナー・仕事の現状と仕事理解、企業に関する情報袖手・合格する応募書類の作り方・自分自身の分析(自己開示)・企業面接会	6 31
		・職務の理解 ・介護における尊厳の保持・自立支援	多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解 人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護	9 12
		・介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携・介護職の職業倫理・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全	15
		・介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障害者総合支援制度の理念およびその他の制度	21
		・老化の理解 ・介護におけるコミュニケーション技術	老化に伴うこころとからだの変化と日常・高齢者と健康 介護におけるコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	9 12
		・認知症の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理・認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	12
		・障害の理解	障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識・家族の心理、関わり支援の理解	6
		・こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容、移動、移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠、死にゆく人、に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	16
	実技	・振り返り ・修了評価 ・実習の理解	振り返り・就業への備えと研修修了後に継続的な研修 修了テスト 実技・実習オリエンテーション(服装・持ち物・注意事項等)	5 1 8
・こころとからだのしくみと生活支援技術		介護に関するこころのしくみの基礎的理解・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容、移動、移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠、死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	68	
	・救急法基礎講習	傷病者の観察の仕方および一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動、軌道異物除去)等救急法の基礎	6	
	・施設実習	施設サービス実習・訪問通所サービス実習	12	
訓練時間総合計 249時間 (学科 163時間、実技 86時間)				
機器設備	DVD、対模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、浣腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーパット、口腔模型、アイマスク、調理・食事用具一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他			